

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 42 号

第 42 週(10月11日～10月17日)

発行年月日:平成16年(2004年) 10月 22日  
 発行 :滋賀県立衛生環境センター内  
 滋賀県感染症情報センター  
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (42週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (42週)	全国 (42週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	9	487	7	459
	腸チフス	0	1	56	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	20	3248	8	2635
4類感染症	E型肝炎 <sup>(*)</sup>	0	1	24		
	オウム病	0	1	37	1	44
	ツツガムシ病	0	0	103	2	380
	デング熱	0	2	38	0	31
	マラリア	0	1	60	0	77
	レジオネラ症	0	0	115	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	1	7	471	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	237	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	132	3	115
	後天性免疫不全症候群	1	5	897	8	949
	ジアルジア症	0	1	70	0	99
	梅毒	1	3	398	2	493
	破傷風	0	2	82	1	69
	急性脳炎	0	0	51	0	98

\*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
 \*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

### 2)定点把握の対象となる5類感染症

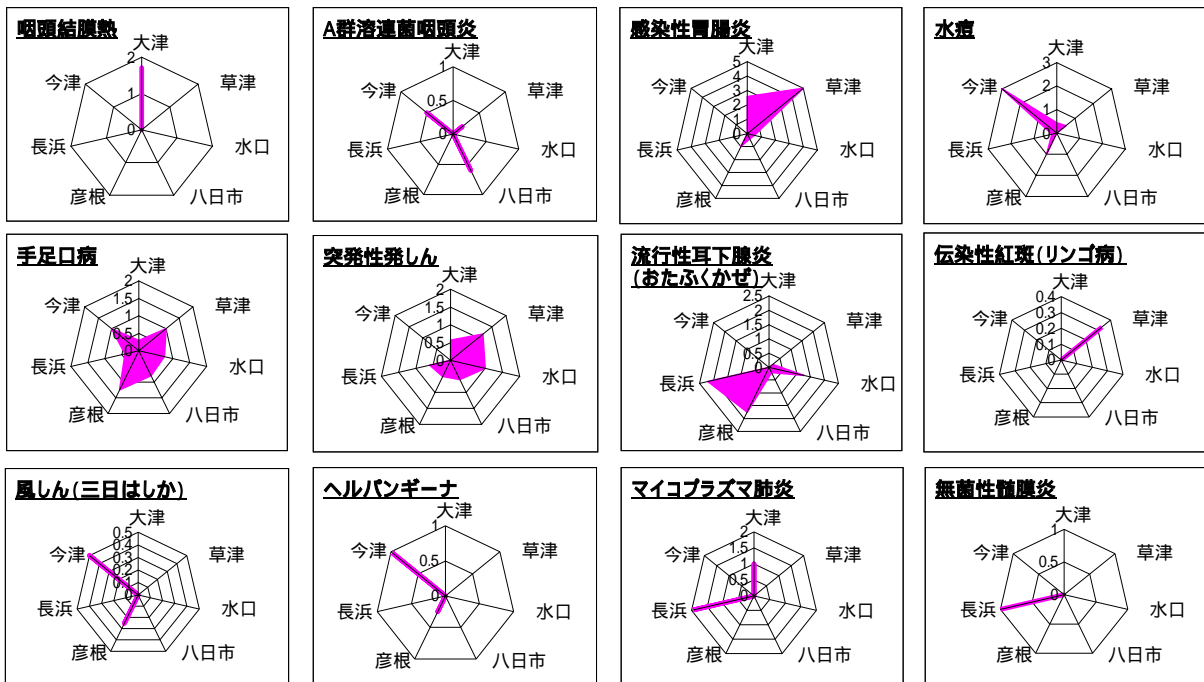
#### (1)疾病別・週別発生状況(第37～42週、9/6～10/17)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	前週より増加						前週と同じ		前週より減少		
	37週 (9/6～)	38週 (9/13～)	39週 (9/20～)	40週 (9/27～)	41週 (10/4～)	42週 (10/11～)	38	39	40	41	42
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	0.85	0.36	0.36	0.36	0.58	0.36					
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.27	0.03	0.15	0.18	0.21	0.15					
感染性胃腸炎	1.45	1.18	1.27	1.79	1.88	1.70					
水痘	0.48	0.42	0.42	0.45	0.70	0.52					
手足口病	1.36	0.48	0.58	0.67	0.82	0.73					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.09	0	0.06	0.09	0.06					
突発性発しん	0.64	0.67	0.73	0.76	0.97	0.70					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.03	0	0	0.06					
ヘルパンギーナ	0.48	0.24	0.18	0.27	0.06	0.09					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0.03	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0.82	0.88	0.97	0.58	0.76					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0	0.14	0					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.14	0.43	0	0.29	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0.29	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第42週、10/11～10/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.36	1.71	0	0	0	0	0	0
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.15	0	0.17	0	0.60	0	0	0.50
感染性胃腸炎	1.70	2.57	5.00	0.50	0.40	1.00	0	0
水痘	0.52	0.43	0.50	0	0	1.00	0.20	3.00
手足口病	0.73	0.29	1.00	0.75	0.80	1.25	0.40	1.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.33	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.70	0.57	1.17	1.00	0.60	0.50	0.60	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0.06	0	0	0	0	0.25	0	0.50
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0	0	0.25	0	1.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.76	0	0.17	1.25	0.20	1.75	2.20	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	0	0	2.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎は先週に引き続き大津および草津で多くなっています。水痘についてみると先週より減少していますが今津で多くなっています。手足口病については水口および八日市からの報告が増加しています。また、流行性耳下腺炎については先週に引き続き彦根および長浜では多くなっています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生状況 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1週～第42週)

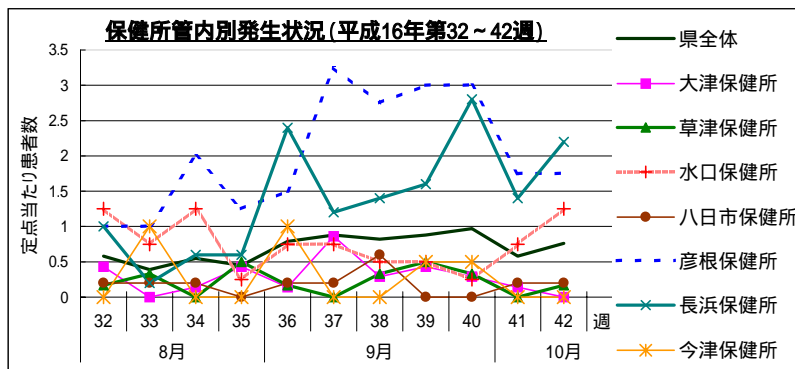
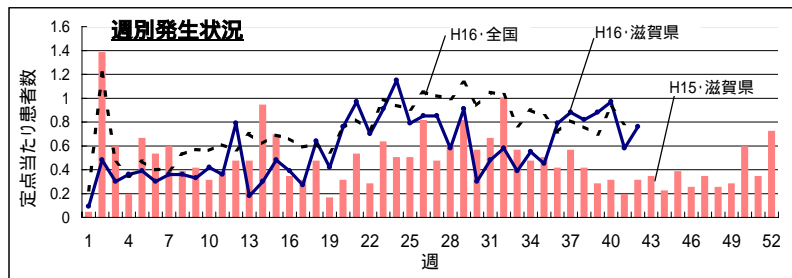
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(10月4日～10月10日)の報告数より少なくなっていますが流行性耳下腺炎およびヘルパンギーナは増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

また、彦根および今津保健所管内からは風しん(三日はしか)の発生が報告されています。

**流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)**については、先週(10/4～10/10)の定点当たり患者数は減少しましたが、今週は再度増加し0.76となっています。また、昨年の同時期の定点当たり患者数よりかなり多くなっています。

**風しん(三日はしか)**については、平成16年第1週から第42週までの患者報告数は47名となっています。また、平成11年(第14～52週)50名、平成12年 59名、平成13年 30名、平成14年 20名、平成15年 13名となっています。

#### 流行性耳下腺炎の発生状況



流行性耳下腺炎の週別発生状況についてみると、第35週(8/23～8/29)までは昨年とほぼ同様の傾向を示していましたが、第36週(8/30～9/5)以降の定点当たり患者数は昨年よりかなり多い状態で推移しています。

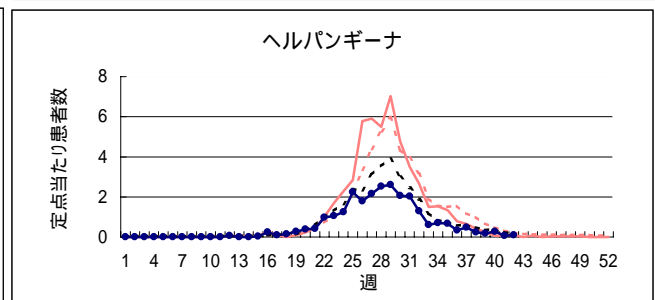
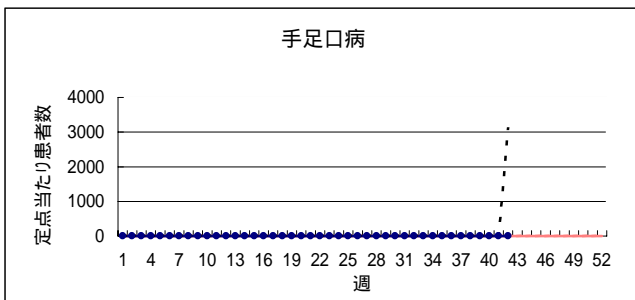
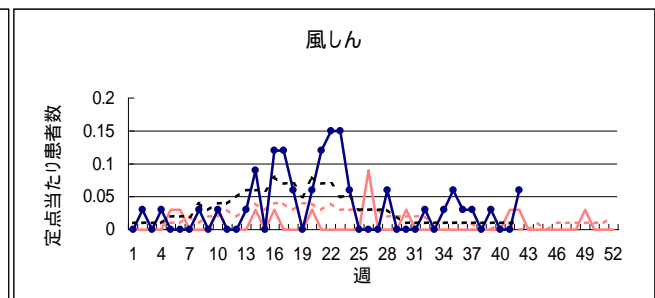
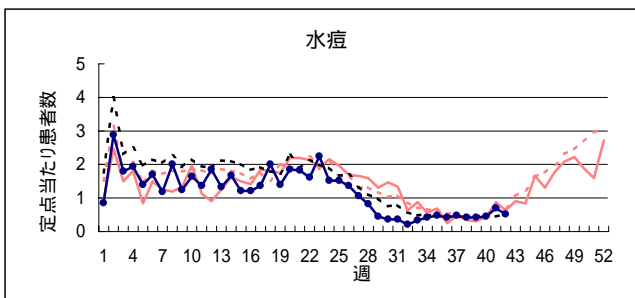
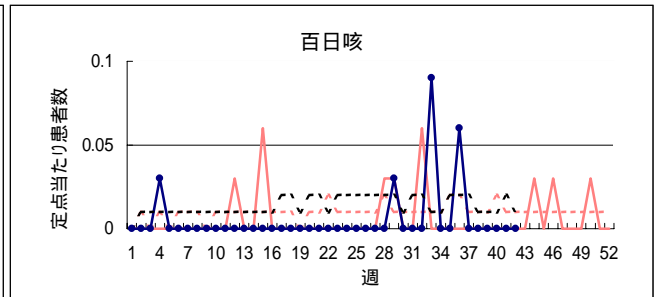
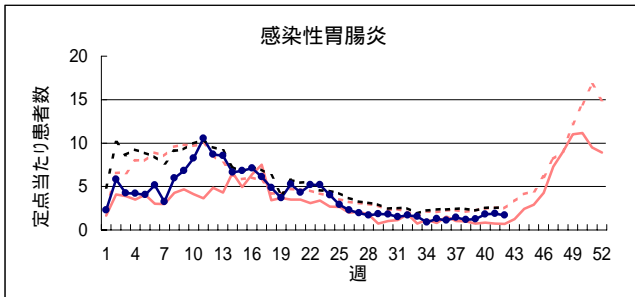
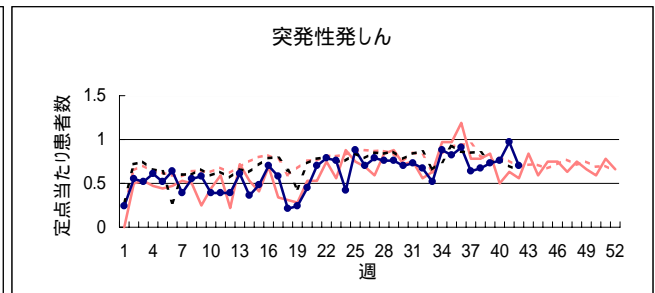
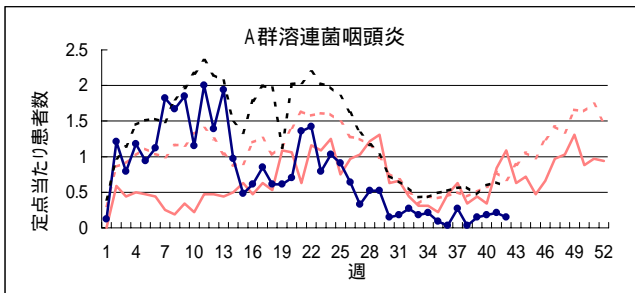
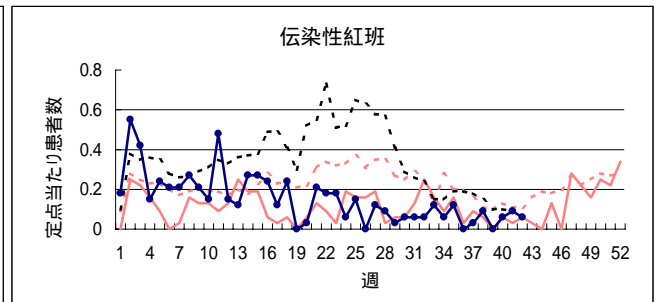
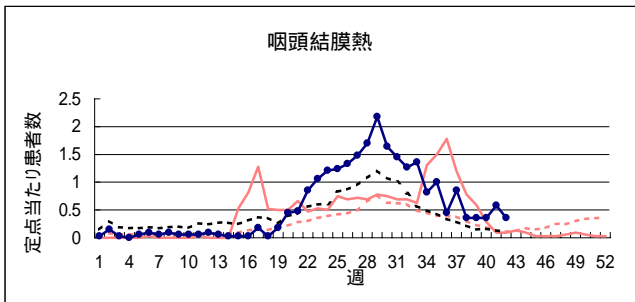
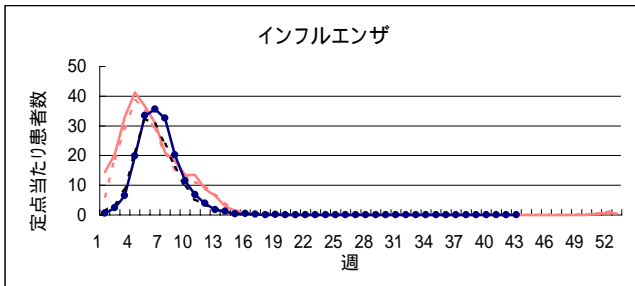
また、保健所管内別の発生状況についてみると、第36週からは彦根および長浜保健所管内において増加しています。水口保健所管内においては第41週(10/4～10/10)から増加を示しています。

#### 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1週～第42週)

感染症類型	疾患名	1～37週の累積報告数	38～42週の報告年月日	概要
一類感染症	報告なし	0		
二類感染症	細菌性赤痢	8	H16.10.1	菌種:フレキシネル 推定感染地域:フィリピン 推定感染原因:感染経路:不明
	腸チフス	1	報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18	H16.10.6	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+)/VT2(-) 推定感染地域:日本国内 推定感染原因:感染経路:不明
			H16.10.8	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+) 推定感染地域:日本国内 推定感染原因:感染経路:不明 * VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型
四類感染症	E型肝炎	1	報告なし	
	オウム病	1	報告なし	
	デング熱	2	報告なし	
	マラリア	1	報告なし	
五類感染症	アメーバ赤痢	6	H16.10.13	推定感染地域:インド、ネパール 推定感染源:感染経路:経口感染
	ウイルス性肝炎	2	報告なし	
	後天性免疫不全症候群	4	H16.10.13	AIDS 推定感染地域:日本国内 推定感染経路:異性間性的接触
	ジアルジア症	1	報告なし	
	梅毒	2	H16.10.12	早期顕症梅毒 期 推定感染地域:日本国内 推定感染源:感染経路:異性間性的接触
	破傷風	2	報告なし	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第42週、H15.12.29～H16.10.17)



# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第42週、H15.12.29～H16.10.17)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

